

(様式6-3)

研修等 報告書

平成29年 5月 29日

三田市議会議長 平野 菅子 様

私は、研修等報告書を下記のとおり提出します。

会 派 名	市民の会	代表者	檜田 充	印
		議員名		
参加者氏名	印			
講演会等研修名	第19回リサーチ・コンソーシアム総会記念事業			
研修事項	A Iは社会をどう変えるのか？ ～「個別化」後の人工知能活用と協創の社会」 講演者：楽天技術研究所代表／楽天株式会社執行役員 森 正弥 氏			
日 時	平成29年5月26日（金曜日）～ 平成29年5月26日（金曜日）			
場 所	西宮市上ヶ原町一番町1-155 関西学院西宮上ヶ原キャンパス			
所 見	・別紙の通り			
添付資料	・第19回リサーチ・コンソーシアム総会記念事業プログラム ・講演資料 ・			

6 添付書類（講演会内容のパンフレット等）

交付対象議員は会派名、議員名を記入してください。（代表者名、参加者氏名は不要）

(別紙)

(所見)

ビッグデータと人工知能の相乗効果により大きく変わろうとしている。専門家が負けると言う現象は人工知能の性能・制度が高くなっている。ロングテールの発展、新しい「情報の非対称性」の登場で、もはや人工知能の活用なしには、企業は生きていけない。

個別化・予測のプラットフォーム、ロングテールに対応しニーズを自動発見し、隠れたより多くのニーズを自動的につかむ、需要を予測し、個別化された需要すら予測する。ファイナンスや経営の予測などかなりの精度で実現

しかしながら、アイドルの CD 販売数は予測できなかった。「握手券」により、1人1枚しか買わなかった CD を何枚も買う現象が起こった。これが人工知能の限界であり、人間の知恵である。

人間と人工知能との新しい関係

- ・人工知能の高度化により、様々な職が人工知能に置き換わることで、雇用が奪われる可能性も考えられる
- ・人間は創造性をもっている。機械はロングテールとビッグデータを処理することができる。人と知と機械の力を統合する「新しい関係」が出来つつある。

今までは人間が考えて、ロボットが同じことを繰り返してきた。これからはロボットが考え、ロボットが繰り返す
人間はルールを作る。これがこれからの人間のあり方ではないか。

いずれにしても、人口減少が続くこれからの時代の対応策は人工知能しかない。私たちの未来は、人工知能をいかに扱いつかいこなすかにかかっていると感じました。

檜 河 隆



第19回 リサーチ・コンソーシアム総会記念事業プログラム

政策学の新たな可能性を求めて—Solution for the future—

日時 : 2017年5月26日(金) 13:00~16:40
場所 : 関西学院西宮上ヶ原キャンパス 関西学院会館レセプションホール
主催 : 関西学院大学大学院 総合政策研究科リサーチ・コンソーシアム
後援 : 関西学院大学社会情報学研究センター
関西学院大学社会心理学研究センター
関西学院大学グローバル・ポリシー研究センター

AIは社会をどう変えるのか?

13:00~14:20 総会記念講演 関西学院会館2階レセプションホール

～「個別化」後の人工知能活用と協創の世界～

講演者: 森正弥氏 (楽天技術研究所 代表 / 楽天株式会社 執行役員)

司会: 角谷和俊教授 (総合政策研究科 [情報デザイン / 社会情報基盤 / クロスメディア設計])

14:40~16:10 パネルディスカッション 関西学院会館2階レセプションホール

パネリスト:

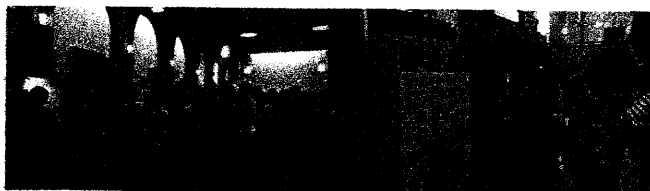
森正弥氏 (楽天技術研究所 代表 / 楽天株式会社 執行役員)

三浦麻子教授 (文学研究科 / 関西学院大学社会心理学研究センター長)

朴勝俊教授 (総合政策研究科 [環境経済学 / 環境政策])

司会: 角谷和俊教授 (総合政策研究科 / 関西学院大学社会情報学研究センター長)

13:00~16:40 ポスターセッション
1階&2階ロビー
(15:40~16:40 ディスカッションタイム)



過去のポスターセッションの様子

事前申し込み不要。直接会場にお越しください。

[関西学院大学大学院 総合政策研究科 Web サイト]

http://www.kwansei.ac.jp/s_policy/

問い合わせ先: 総合政策研究科リサーチ・コンソーシアム事務局

TEL: 079-565-7601 e-mail: gspcs-rc@kwansei.ac.jp

関西学院会館までのアクセスマップ

詳しくは下記 URL でご確認ください。
<http://member.kwangaku.net/kwangakukalkan/access.html>

